

論文タイトル: Ocular surface comfort during the day assessed by instant reporting in different types of contact and non-contact lens wearers.

(数種のコンタクトレンズの装用者と非装用者による 1 日を通じた装用感アンケート)

掲載雑誌、年、巻、頁: Eye Contact Lens 2010;36(2):96-100.

著者名(所属): J. Santodomingo-Rubido (メニコン スペイン)、E. Barrado-Navascues、M. Rubido-Crespo (Euro-Optica)

概要: コンタクトレンズを装用すると、時間と共に装用感スコアが減少し、乾燥感などが増すことがあります。装用感スコアの減少はどんな種類のコンタクトレンズでも起きますが、これは CL 非装用者でも起きるので、眼精(肉体)疲労の可能性もあります。

コンタクトレンズ(CL)の装用感は、CL タイプおよび 1 日の装用時間により異なることが報告されています。主な装用感不良としては、不快症状(異物感など)と乾燥感です。これらの装用感不良は、CL の角膜上での動き、タンパク質や脂質による汚れ、レンズエッジ(周辺部)の形状などに影響されます。近年、CL の新素材が開発され、エッジデザインも改良され、また CL のうるおいを持続させる技術も向上し、装用感不良が改善されてきました。

この研究では、18 歳から 45 歳のそれぞれ 20 人以上の被験者をハイドロゲル CL、シリコーンハイドロゲル CL、およびガス透過性ハード(RGP)CL、および CL 非装用の各群で募集しました。1 日を通じた装用感のアンケートを行い、それらを比較しました。各 CL 装用感スコアを午前(9:00 ~ 11:00)、午後(14:00 ~ 16:00)、および夜(19:00 ~ 21:00)に、0(痛む) ~ 100(良好)のスケールを用いて、ショート メッセージ サービスを使用して記録しました。

アンケートを分析した結果、全ての群と測定時間において、装用感スコアはデータが正規分布にはならず、高い値側にずれていました。すなわち、スコアの 88%が 70 ~ 100 の範囲であり、残りの 12%が 40 ~ 70 未満でした。装用感は測定時間によって有意に変化しました。しかし、各群間では有意差はなく、また測定時間と各群間の相互作用にも有意差はありませんでした。ハイドロゲル CL とシリコーンハイドロゲル CL 装用群では、午後(それぞれ、平均値 ± 標準偏差 = -4.5 ± 11.8 と -4.5 ± 8.6)と夜(それぞれ、 -8.3 ± 14.1 と -9.1 ± 8.7)の装用感スコアで同様の減少を示しました。これらは RGP CL 装用群と CL 非装用群で見られた午後(それぞれ、 -1.0 ± 11.3 と -1.8 ± 16.3)と夜(それぞれ、 -7.3 ± 9.7 と -4.1 ± 21.9)のスコアよりも大きかったです。

ハイドロゲル CL とシリコーンハイドロゲル CL 装用群での装用感スコアは、朝と比べて夜に減少しました。CL 非装用群に見られた朝に対する夜のわずかな装用感低下は、眼または一般的な肉体的疲労に関連するのかもしれませんが、このことは、CL 装用者によって回答された 1 日の終わりの装用感の低下がただ単に CL 装用に関連しているのではないという可能性を示唆しています。本研究の結果は、装用感スコアの解釈を慎重に行うべきであることも示唆しています。

